

<荒野で知る神>

マルコ1：9～13

【船越宣教師より、ロシア・ウクライナ情勢】

創世記3章

アダムとエバにより神との関係が死に、人は的外れ(罪の支配)に生きる者となった。

創世記7章

大洪水。ノアの箱舟により再出発。

創世記11章

バベルの町に塔を築く。「さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。」

創世記12章

アブラハムが選ばれ救済の歴史が始まる。

アブラハムからダビデが14代。

ダビデからバビロン移住まで14代

バビロン移住からイエスキリスト誕生まで14代。

◆年月をかけた壮大な神の計画の中で、アブラハムから約束のメシア
イエス・キリストが到来された。

「さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。」

バベルの塔の原理と同じものが今も人の内にある。

キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。

□-マ8：2

神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、律法の要求が全うされるためなのです。肉に従う者は肉的なことをもっぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。

□-マ8：3～6

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」この招きは今も続いている。

ヨハネ：罪の深刻さは自分の手に負えず、私たちは自分で自分を救えないという
現実気がつくように呼びかけた。

水のバプテスマはお墓?! 死・葬り・復活

私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあつて新しい歩みをするためです。 ローマ6:4

そしてすぐ、御霊はイエスを荒野に追いやられた。【12節】

「荒野の40日・40年」は度々聖書に出て来る。

- ・出エジプト後の荒野の40年。
- ・モーセが十戒めをもらった時の40日。
- ・預言者エリヤがバアル神に大勝利を収めた直後に荒野に逃れた40日。

荒野・・・人生をさまよい歩くような場所。

神に背を向け、神の言葉にそむいた者たちが、水もなく渴きを覚え、神に不満をつぶやく場所。

しかし、荒野でこそ民は主の声を聞いた!

荒野は主と出会う場であり、主の声を聞く者たちの悔い改めの場となる。

キリストによって新しくされた自分と、生まれながらの古い自分が闘いながら、主に明け渡すことを学ぶ場であり、神との絆を深める場。

